

県内景況、第7波の影響により不透明感増す

原材料価格の高止まり、円安の影響長期化を懸念

～景況 DI 値は、前年同月比13.1ポイント低下のマイナス13.1～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 7月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス5.2。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス31.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス42.1。非製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス36.8、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比0.1ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比同水準のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比15.9ポイント低下のマイナス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス5.3。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス10.6。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス5.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比0.1ポイント上昇のマイナス15.7、前年同月比13.1ポイント低下のマイナス13.1となった。製造業の一般食料品、紙・加工品、生コン、金属製品関連を中心に、原材料仕入の遅延、不足はもとより、円安などの影響による原材料仕入価格の高騰が深刻化し、価格転嫁も追いつかず利益確保も困難な状況が続いている。非製造業では、各種イベントの開催や県民割の広がりなどが期待される中、新型コロナ第7波の感染急拡大による消費マインドの低下、人流の抑制が懸念される。

県内景況は、製造業を中心に原油・原材料価格の高止まりや円安の進行、物価上昇や供給制約の継続などの影響を受けており引き続き厳しい状況。新型コロナ第7波による感染急拡大の影響がさらに加速、長期化することが懸念され、引き続き先行き不透明な状況が続く。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

7月の全国倒産は、件数499件で、前年同月を1.8%上回った。負債総額は903億9,300万円（負債総額1,000万円以上）と、前年同月から169億8,900万円増加し、2カ月連続で増加となった。不況型倒産の構成比は80.6%、3カ月連続の増加となった。

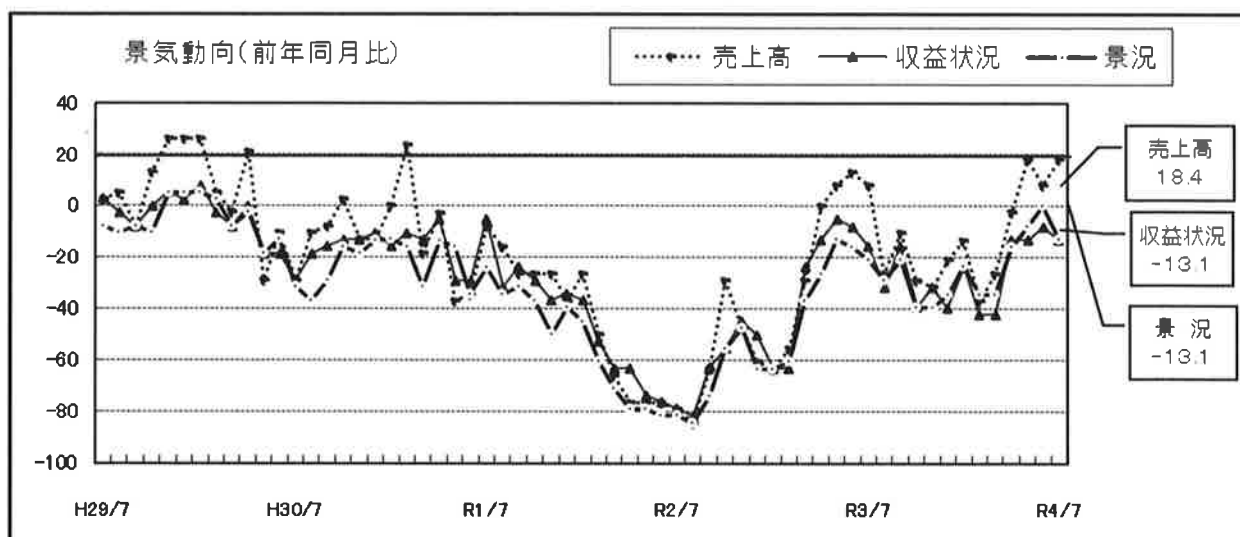
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月1件）、負債総額は1億円（前月1億3,000万円）、業種はサービス業、主因別は販売不振となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」）

鳥取県の6月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.52倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.27倍）で、前月より0.04ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.35倍、米子所1.42倍、倉吉所1.65倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.80倍（季節調整値）で、前月より0.16ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比9.1%増加し、有効求人数は11.3%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、製造業（51.9%）、サービス業（22.8%）、公務・その他（9.2%）、医療・福祉（4.6%）、宿泊業・飲食サービス業（0.4%）、で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.7%増加し、有効求職者数は前年同月比2.6%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.24倍で、前年同月を0.08ポイント上回った。新規求人数は前年同月を8.9%上回った。



7月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	21.1%	10.5 10.5	26.3%	26.3%	0.0 -10.5	28.9%	23.7%	5.2 -0.1
(2) 在庫数量	21.1%	0.0%	21.1 5.3	8.3%	8.3%	0.0 -8.4	16.1%	3.2%	12.9 0.0
(3) 販売価格	26.3%	0.0%	26.3 10.5	36.8%	0.0%	36.8 10.5	31.6%	0.0%	31.6 10.5
(4) 取引条件	10.5%	5.3%	5.2 10.4	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	5.3%	5.3%	0.0 5.3
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	10.5%	26.3%	-15.8 -0.1	7.9%	23.7%	-15.8 0.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	5.3%	0.0 15.8	2.6%	7.9%	-5.3 7.9
(7) 設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 0.1
(9) 景 況	15.8%	26.3%	-10.5 5.3	10.5%	31.6%	-21.1 -5.3	13.2%	28.9%	-15.7 0.1

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	21.1%	5.2 15.8	47.4%	15.8%	31.6 5.3	36.8%	18.4%	18.4 10.5
(2) 在庫数量	21.1%	10.5%	10.6 -5.2	25.0%	8.3%	16.7 -8.3	22.6%	9.7%	12.9 -6.4
(3) 販売価格	42.1%	0.0%	42.1 10.5	47.4%	5.3%	42.1 5.3	44.7%	2.6%	42.1 7.9
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 5.2	5.3%	0.0%	5.3 10.6	5.3%	2.6%	2.7 8.0
(5) 収益状況	0.0%	31.6%	-31.6 -10.6	31.6%	26.3%	5.3 0.0	15.8%	28.9%	-13.1 -5.2
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -10.6	15.8%	21.1%	-5.3 -15.9	7.9%	21.1%	-13.2 -13.2
(7) 設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	10.5%	21.1%	-10.6 -5.3	5.3%	13.2%	-7.9 -2.7
(9) 景 況	5.3%	26.3%	-21.0 -10.5	26.3%	31.6%	-5.3 -15.8	15.8%	28.9%	-13.1 -13.1

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、油脂類）や光熱費（LP ガス、電気等）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。

醬 油⇒ 新型コロナウイルスの第7波により感染者数の急増が目立つが、経済との両立を進める国の方針もあり、回復基調に水を差すほどまでには至っていない。お盆休み後の動きに注視する必要がある。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 円安が追い風となり、国内生産需要が高まってきている。国外拠点のメーカーが国内での生産コストに対応することに対してのハードルがある。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 原材料価格の上昇、為替の動向など、国内メーカーには不安定な状況が続いている。販売先への値上げ交渉も予定しているが、最終小売価格が値上げされないと転嫁は困難である。今後の衣料品消費の動向が注視される。

【家具装備品】

⇒ 円安や燃料高により、各所から仕入価格の値上げが続いている。販売価格の値上げをせざるを得ず、消費者ニーズの高い低価格帯商品がなくなっているため、売上、収益とも厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月に比べ増加。合板の生産量も前月比で増加した。製材品の不足感は徐々に解消してきており、価格も大きな変化はない。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに横ばいとなった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 為替の影響もあるが、原材料については今年に入ってから50%以上値上がりしたものもあり、需要低迷にさらに追い打ちをかけられている状況となっている。

【印 刷】

⇒ 行政、団体には用紙、インキ、送料などの値上げを予定していたため、年間契約の予算は昨年より増えているが、物件数は変わらない。部数減の動きとなり収益は低下を見込んでいる。民間についてはペーパーレス化へ向けた動きが見られる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 7月の生コン出荷量は、前月比11%増加、前年同月比5%減少。各地区ともに大型プロジェクト事業が少なく、需要が伸びないため厳しい。セメントの値上げと、燃料費の値上げでコストが上昇しており、各

地区で生コン価格の値上げを実施している。セメント製造に必要な石炭について、ロシア産の禁輸によって製造コストの大幅上昇が見込まれ、再度セメント価格の上昇が予想されている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件が少ないため、地元相手の小規模業者は厳しいが、県外物件を受注出来ているところは忙しい。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注は増加傾向だったが、半導体不足の影響により、納期の見込みが立っていない。自動車メーカーも部品不足が深刻で、減産を余儀なくされており、生産計画の正常化の遅れによる影響が益々懸念される。電炉メーカーは、スクラップ価格が軟調だが、高炉の値上げ姿勢により据置としている。夏季減産期を迎え、今後は需給バランスの進展、市況の好転が求められる。

鉄骨加工⇒ 大手製鉄メーカーは7月から線材価格を35,000千円/ト追加値上げを発表し、業界に大きなインパクトを与えている。価格高騰について元請業者、施主の価格転嫁に対しての意識が浸透していくかどうかで今後の物件発注に影響が出てくることが予想される。

金属熱処理⇒ 7月の受注状況は前月比で減少、前年同月比で横ばいとなった。半導体不足の影響により自動車の生産量が極端に減り、直接的または間接的に影響を受ける企業が多い。建機は北米向けが比較的順調であるが、中国向けは回復に至っていない。その他、工具関係は比較的順調であるが、エネルギー部品は減少傾向にあり、今後についても不透明である。

【電気機械器具】

⇒ 材料不足の影響は徐々に回復傾向にある。受注も増加傾向にあるが、受注増に対して慢性的な人員不足による残業増加、生産稼働の細かな切り替え発生など課題が生じている。また、部材の高騰による価格転嫁が出来ていない等の要因で利益確保は厳しい。コロナの影響で出勤人員に制限がかかるなど、不安定な状況が続いている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 卸売業では、部材調達が進まず納期が定まらない。行動制限が緩和されたことで営業や出張が増えてきたが、まだまだコロナによる影響が続いている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比でともに減少。特に取扱数量は大幅に減少となっている。イカ等の不漁や、県内の感染者急増、燃料代が高止まりなど、依然として水産関係の景況は厳しい状況が続いている。

中部地区⇒ 中国のロックダウンの影響により、メーカーによっては中国で生産する複写機等が大幅に入荷遅延状態となっている。商品によっては3〜4カ月遅延となるなど、顧客に迷惑を掛けている。

西部地区⇒ 新型コロナ感染急拡大により一部で売上低下の動きが見受けられる。また、一部で半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流へ

の影響が懸念される。このほか、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられる。

水産物⇒ 巻き網は好天にも恵まれ前年同月比で3割近く水揚げ量が増加したが、マイワシからウルメイワシの混獲となり付加価値の付けにくい水揚げとなった。マグロについては順調に漁獲され、月初めで漁獲枠を消化し身質が良好なこともあって最後まで高値安定で推移した。底引き漁、ベニズワイガニ漁は休漁期にあたり、巻き網の豊漁を除けば「夏枯れ」状態であり極暑も手伝って荷動きは低迷した月となった。

リサイクル原料⇒ 資源（鉄・非鉄）相場は大きく下落状態。古紙相場は堅調に推移しているが、古紙の発生量は減少傾向。自動車メーカーの生産調整、中国の鈍化が影響している。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 県内で新型コロナ感染者が増加しているものの、コロナ禍に対する慣れが要因か、昨年に対しては売上増となっている店舗が多くみられる。しかし、しゃんしゃん祭りなどの大型イベントは中心市街地では開催されないままであり、コロナ禍以前に比べれば、まだまだ厳しい状況が続いている。イベントも開催方法などを考慮しなければならず、消費マインドの低下や、企業のモチベーションの低下が懸念され、先行き不安な厳しい状況が続く。

中部地区⇒ 倉吉銀座商店街として3年振りの土曜夜市、歩行者天国を実施した。多くの市民が倉吉銀座通りに繰り出し、屋台やバンドのライブを楽しんでもらうなど大成功のイベントとなった。また、「銀座プレミアムグルメクーポン券」の使用期日の延長もあり、商店街の活性化へと繋がった。

西部地区⇒ 米子の商店街では、7月に「The 食 vol.4」を開催。前日の天候が良くなかったが、終日通して1,000人程度の集客となった。

境港市の水産物小売では、7、8月は最も魚種が少ない時期となり、特にカニの操業が休漁期に入るため、水産物の販売に関しては客足が遠のく時期である。昨年は7月より直売センターの建て替え工事が着工したため、駐車場台数等で制約があったことと、新型コロナの影響があった。今年は直売施設が新しくなり、来場者数・売上ともに増加しているものの、ここに来て新型コロナの新規感染者数が増加していることもあり、観光バスの来場者は途絶えている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、新型コロナの感染急拡大に加えて、梅雨による悪天候もあり、7月3連休の観光客の入り込み数は低調となったが、閉館中であった砂の美術館が7月30日にオープンとなり、今後の観光客の増加が見込まれる。売上高は前月比で増加、前年同月比では横ばい。

米子市のホテル・旅館では、7月は海水浴シーズンとも相まって前月比では宿泊者数は増加、販売価格も上昇し、収益も好転した。前年同月比では、日帰り人数は減少したが、宿泊人数が増加し、販売価格も上昇した。7月下旬以降、コロナ第7波の急拡大の影響によりキャンセルが

散見され、今後は厳しい状況が予測される。

三朝温泉では、売上高は、前月比で横ばい、前年同月比で増加した。

羽合温泉では、修学旅行等の行事が行われるようになり、コロナ前のような活気に戻りつつある。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて1,985台で前月比8%減少、前年同月比は1%減少。継続検査台数（軽自動車を含む）は14,599台で前月比が10%減少、前年同月比は2%減少。中古車（軽自動車を含む）は661台で前月比が5%増加、前年同月比は1%増加となった。継続検査台数は前月より約1割の減少となったが、新車、中古車は前月と同等の状況であった。

【建設業】

⇒ 6月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額87億円（前年同月比19%減）、件数182件（前年同月比同率）となった。年度累計（令和4年4月～令和4年6月）は、請負金額230億円（前年同月比14%減）、件数478件（前年同月比1%減）となった。国や市町村などが押し下げ、単月で前年比マイナス。設備投資は、単月、3カ月平均ともに前年比マイナス。住宅建設も単月、3カ月平均ともに前年比マイナスとなった。建設資材や燃料価格の上昇が価格に十分に転嫁できておらず、設備機器の納期遅れ・欠品も含め、採算悪化は継続している。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は223戸（持家176戸、貸家47戸）で、前月比25%増加、前年同月比36%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 7月の荷動きは、製造業などの出荷量は横ばい。季節商品などが増加したが全般に物流は横ばいで推移している。また、復路荷物は不足傾向が続く。燃料価格が値下がり傾向であるが、高値が続き収益率が低下している。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいとなった。

西部地区⇒ 燃料価格高騰により組合員の経営の圧迫、運賃増加交渉の問題が続いており、受注状況も不安定。売上高は前月比で減少、前年同月比で横ばいとなった。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・電気、ガスをはじめエネルギー関係や資材の値上がり幅が大きく価格転嫁できないため対策を検討してほしい。【金属熱処理業】
- ・補助金制度の継続、コロナ対策融資の元本返済猶予や固定資産税の猶予等直接的な支援を望む。【旅館業】
- ・業種に偏りなく事業規模や雇用に併せた支援をしてほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売 上 高	製 造 業	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	0.0
	非製造業	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	-10.5
	全 業 種	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-5.3
在庫数量	製 造 業	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	10.6
	非製造業	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	8.4
	全 業 種	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	9.7
販売価格	製 造 業	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	10.5
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	36.8
	全 業 種	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	23.7
取引条件	製 造 業	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	5.2
	非製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.2
	全 業 種	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	5.3
収益状況	製 造 業	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	0.0
	非製造業	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	5.2
	全 業 種	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	2.6
資金繰り	製 造 業	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2
	非製造業	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	10.5
	全 業 種	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	2.6
設備操業度	製 造 業	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	0.0
雇用人員	製 造 業	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3
	非製造業	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	0.0
	全 業 種	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	-2.6
景 況	製 造 業	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	0.1
	非製造業	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	15.7
	全 業 種	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	8.0

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売 上 高	製 造 業	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3
	非製造業	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	15.8
	全 業 種	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	10.5
在庫数量	製 造 業	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	5.3
	非製造業	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	33.4
	全 業 種	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	16.1
販売価格	製 造 業	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	21.1
	非製造業	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	47.4
	全 業 種	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	34.2
取引条件	製 造 業	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	-10.5
	非製造業	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	10.5
	全 業 種	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	0.1
収益状況	製 造 業	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-10.6
	非製造業	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	15.8
	全 業 種	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	2.7
資金繰り	製 造 業	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	0.0
	非製造業	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	21.0
	全 業 種	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	10.4
設備操業度	製 造 業	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	5.3
雇用人員	製 造 業	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-0.1
	非製造業	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	5.2
	全 業 種	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	2.7
景 況	製 造 業	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-5.2
	非製造業	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	21.0
	全 業 種	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	7.9

情報連絡員報告総括表(令和4年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1
	木材・木製品	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	2	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
輸送用機器																												
その他																												
非製造業	卸売業	1	3	2	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	4	2	0	6	0	3	14	2	0	18	1	3	11	5
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0		0	1	0	0	1	0	0
	商店街	1	2	1	1	3	0	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	1	3
	サービス業	2	3	0				2	3	0	0	5	0	2	3	0	1	4	0	0	5	0	0	5	0	2	3	0
	建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
	運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1		0	2	0	0	1	1	1
	その他																											
	19	5	9	5	1	9	1	7	12	0	0	18	1	2	12	5	1	17	1			0	19	0	2	11	6	
	100%	26.3%	47.4%	26.3%	8.3%	75.0%	8.3%	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	89.5%	5.3%			0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	57.9%	31.6%	
	38	11	18	9	5	24	1	12	26	0	2	34	2	3	26	9	1	34	3	3	14	2	0	37	1	5	22	11
100%	28.9%	47.4%	23.7%	16.1%	77.4%	3.2%	31.6%	68.4%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	7.9%	68.4%	23.7%	2.6%	89.5%	7.9%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	97.4%	2.6%	13.2%	57.9%	28.9%	

情報連絡員報告総括表（令和4年7月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	1	0	1
繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0
木材・木製品	0	3	1	0	2	2	2	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	4	0	0	3	1
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	5	10	4	4	13	2	8	11	0	1	17	1	0	13	6	0	15	4	2	14	3	0	18	1	1	13	5
100%	26.3%	52.6%	21.1%	21.1%	68.4%	10.5%	42.1%	57.9%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%
卸売業	3	2	1	2	3	1	2	3	1	0	6	0	2	3	1	0	6	0				0	6	0	1	4	1
小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				1	0	0	1	0	0
商店街	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	2	2	0	2	2
サービス業	3	1	1				3	2	0	1	5	0	3	1	1	3	1	1				1	3	1	3	1	1
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	0	2	0				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	9	7	3	3	7	1	9	9	1	1	19	0	6	8	5	3	12	4				2	13	4	5	8	6
100%	47.4%	36.8%	15.8%	25.0%	58.3%	8.3%	47.4%	47.4%	5.3%	5.3%	100.0%	0.0%	31.6%	42.1%	26.3%	15.8%	63.2%	21.1%				10.5%	68.4%	21.1%	26.3%	42.1%	31.6%
38	14	17	7	7	20	3	17	20	1	2	36	1	6	21	11	3	27	8	2	14	3	2	31	5	6	21	11
100%	36.8%	44.7%	18.4%	22.6%	64.5%	9.7%	44.7%	52.6%	2.6%	5.3%	94.7%	2.6%	15.8%	55.3%	28.9%	7.9%	71.1%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	81.6%	13.2%	15.8%	55.3%	28.9%